

# 道

2021年7月1日  
(第71号)

このやま山荘 (倉敷市玉島道口)



僕が勤務する「ぶどうの家BRANCH」に、「老い支度勉強会」というささやかな学び場がある。「コロナ」による中断があるものの、月一回定例で開かれ、主に真備や総社の中高年者が参加している。最近ではZoomでも発信する。▼老いは誰にも避けられない。これは絶対的な事実だ。にもかかわらず、その老いが受け入れられない。社会から、若い者から、家族からだけでは。当の高齢者自身が自己否定する。「なまじり」「みじめ」「死んだほうがまし」などと。これにはそれなりの深い事情や理由がある。否認の裏に何かがあるのか。どう考えたらいいいのか。老いて「ヨタヨタ」「ヘロヘロ」「ドタリ」となる前に(あるいは「ヨタヘロ期」の人も)、「支度(したく)」しておくことはないだろうか、ということが始まったのが先の勉強会である。▼折しも、NHKテレビ「100分de名著」の今月のテーマが「老い」である。ポーヴォワールが一九七〇年に著した本を、上野千鶴子さんが現代社会に引きつけて読みとく。そのテキストには、「老いてなにが悪い!」、「役に立たなきや生きてちやいかんか!」、「怯(ひる)むことなく、堂々と老いさらばえよ!」などの言葉が並ぶ。▼そういえば先日のラジオ「高橋源一郎の飛ぶ教室」で七〇歳の彼が、「老いていく」ということについて、「全部初めての経験なんだよね」「ワクワクする」と話していた。老いを楽しもう、と言うのだが。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田 椋の木